



環境省  
エコアクション21  
認証番号0008449

# エコアクション21 環境経営レポート

2022年度版

運用期間：2022年4月～2023年3月



2023年5月31日発行



清興建設株式会社

# 目次

1. 組織の概要	1
2. エコアクション21の対象範囲	4
3. 環境経営方針	5
4. 環境経営目標	6
5. 環境経営計画	7
6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容	9
＜参考資料＞当社の環境への取組の足跡（CO <sub>2</sub> 排出量の推移）	15
7. 環境経営目標の達成状況、環境経営計画の実施状況 の取組結果とその評価	16
8. 次年度の環境経営目標と環境経営計画	18
9. 環境関連法規等の遵守状況	20
10. 代表者の全体評価と見直し結果	20



## 1.組織の概要

### 1-1. 組織の概要

- (1) 事業者名及び代表者 清興建設株式会社 代表取締役 原田 信一
- (2) 所在地 (本社) 福岡市南区松原7丁目40番5号  
(資材置場・作業所) 福岡市早良区梅林7丁目15番6号

(3) 環境管理責任者・連絡先

環境管理責任者： 代表取締役 原田 信一  
連絡先： TEL 092-512-0161  
FAX 092-512-3325  
E-mail [seikou-ken@iuno.ocn.ne.jp](mailto:seikou-ken@iuno.ocn.ne.jp)  
URL <http://fukuoka-seikou.com/>

(4) 事業規模

活動規模	単位	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
資本金	万円	2500							
売上高	百万円	205	234	207	348	125	286	307	220
従業員数	人	5	5	6	5	5	5	5	5
床面積 (本社事務所)	m <sup>2</sup>	117	117	117	117	117	117	117	117
(資材置場・作業所)	m <sup>2</sup>	436	436	436	436	436	436	436	436

- (5) 事業内容 建築工事業(公共工事・ビル・工場・マンション・住宅・リフォーム)  
福岡県知事許可(特-03) 第14548号

- (6) 事業年度 4月 ~ 翌年3月

- (7) 法人設立年月日 1968年4月1日

### 1-2. 認証・登録の対象組織・活動

- (1) 対象組織 清興建設株式会社 本社、資材置場・作業所
- (2) 対象活動 建築工事業(木造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造の新築工事及び改修工事)
- (3) 対象外組織 なし(全組織、全活動を対象とする)

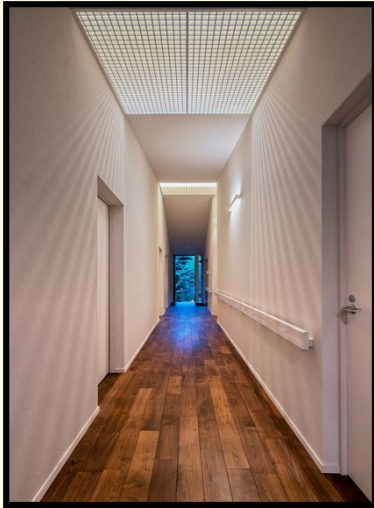
## 公共工事



## 主な事業

内部改修工事や外壁塗装工事を受注しました。  
工期中は現場周辺の清掃活動や、ボランティア活動にも取り組んでいます。

## 住宅新築・リフォーム工事



新築工事



新築工事

新築工事では、注文住宅での工事の際、お客様との打ち合わせを何回も重ね、要望に沿った住宅を建てています。建築デザイナーとのコラボで建てさせて頂いたりもしています。又、リフォームでは、長年住み慣れた家で不便と感じる所、使い勝手が悪い所等お客様の言葉に寄り添い、利便性が良く環境に配慮した使い勝手の良い商品を提案し、快適な暮らしができるよう、心掛けています。



リフォーム工事

## 耐震診断・耐震補強工事

一般耐震技術認定士が家に伺って診断します。  
基礎に鉄筋が入っているか。  
きちんと筋交いははいているか。家が水平に保たれているか。配置バランスや劣化度を数値化し構造評点を算出します。構造評点が1.0未満であれば倒壊の可能性が高いので補強工事を提案しています。  
同時に1.0未満であれば市の補助金も利用できますので、案内しています。今一度家の安全を再点検をしてみたいかがでしょうか。



## 広報活動(耐震セミナー)



今年度は福岡県内の4市でセミナーを開催しました。ここしばらくはコロナで開催を見送る事もあったのですが、世の中の動向も回復傾向にあり、少しずつセミナーにて集客できるようになりました。

お客様の関心も高く熱心に話を聞いてメモを取っておられました。

又耐震推進協議会として、毎月定例会議を開き、他の活動と連携して、セミナーを開催したり、もっと皆様に知って頂けるよう、協議会のホームページで動画を配信をしています。今後の予定としてFBを立て、耐震診断実施等の情報をUPしたり、SNSを活用し、動画配信を行い幅広く知ってもらうように努力しています。



### 『現在は未来からの預かり物、大切に』

この言葉は自社の環境経営方針の基本環境理念として掲げている言葉です。車のリアガラスにも、この言葉を掲示して走っていますので、時には、後ろを走っていた方から『素敵な言葉ですね！』とお電話を頂く事もございます。

**言葉の通り** 今、ここにある全てのものは預かり物であり、確実に未来へと渡していかなければいけない私達の使命と捉えています。住んでいる場所、地域、国、地球、私たちの近代化と共に破壊されていく環境。年々環境問題は深刻化しています。

SDGsの17のゴールを目指し、我が社も出来る事から取り組んでいます。地域貢献活動では色々な方々と接点を持ち、情報を広げ、実りある環境経営が出来ます様、努力を続けていきます。

一人一人の意識の向上と取組、地域貢献と周知活動を積極的に関わりたく、この車で走る事により、多くの方々の目に止まり、一人でも多くの人にこのメッセージが届きますよう、メッセージと共に走っています。



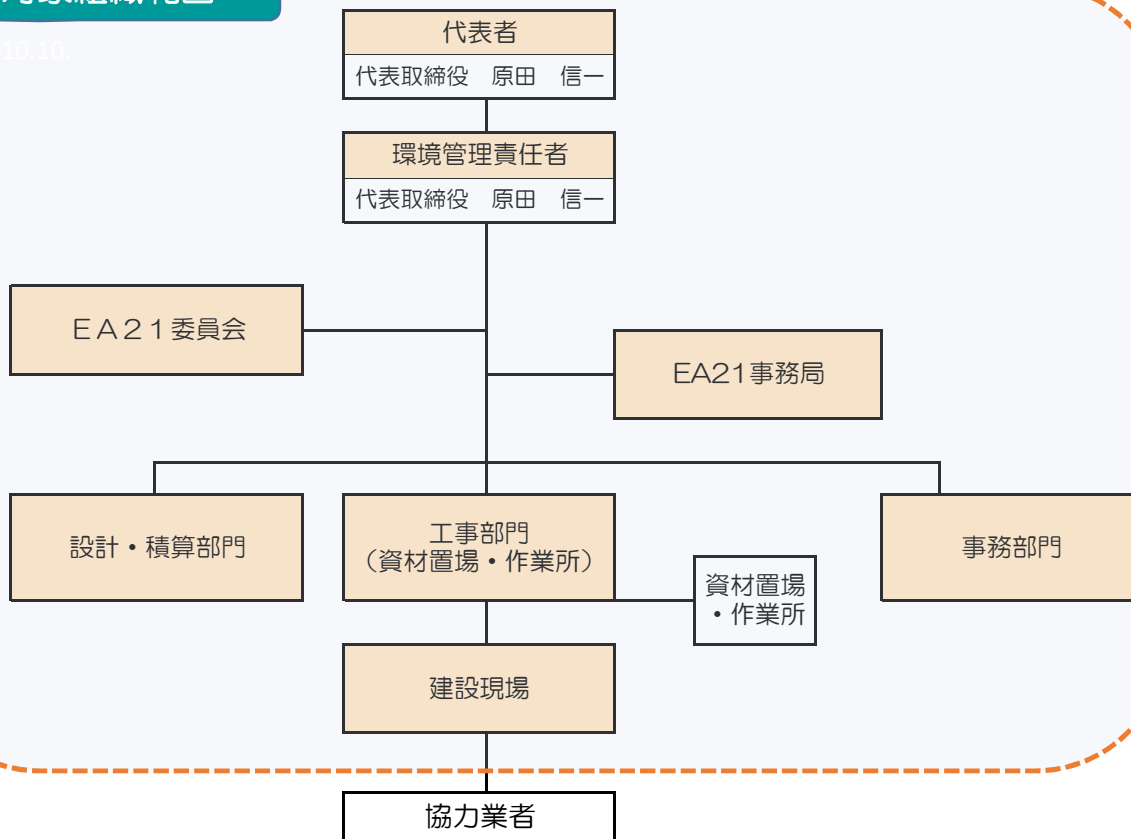
清興建設株式会社  
代表取締役 原田信一



## 2.エコアクション21の対象範囲

### 対象組織範囲

10.10.10



### 役割分担表

所 属	役割・責任・権限
代表取締役 環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体の統括、経営における課題とチャンスの明確化、環境方針の設定、環境への取組を実施するための人とお金の準備、全体の評価と見直し</li> <li>全体の把握/環境管理責任者、環境経営システムを構築と運用</li> <li>EA21文書及び・維持・管理</li> </ul>
設計・積算部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>電力、水消費量の管理</li> <li>省エネルギー住宅、耐震補強の推進・提案</li> <li>車燃料(ガソリン、軽油)、灯油消費量管理</li> <li>地域ボランティア活動</li> </ul>
工事部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物の排出量管理</li> </ul>
事務部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>空調温度管理</li> <li>節水</li> </ul>
事務部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>水使用量の記録</li> <li>電気使用量の記録</li> </ul>
事務部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>分別回収と排出</li> <li>裏紙利用</li> <li>フロン排出抑制法に伴う簡易点検及び事務所活動での排出ごみ量計測</li> </ul>
EA21委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>月に1回、第2金曜日の工程会議後に委員会を開催し、環境目標の達成状況及び活動計画の実行状況を審議する。</li> <li>問題点が発生した場合は必要な是正処置を検討、実施する</li> </ul>
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員会資料の作成</li> <li>EA21文書及び記録類の作成・維持・管理</li> <li>データの集計、取組記録(S-12)についての問題提議</li> </ul>
建設現場 ※現場代理人	<ul style="list-style-type: none"> <li>電力、水消費量の管理</li> <li>化学物質の適正な把握</li> <li>車燃料(ガソリン、軽油)、灯油消費量管理</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚する</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する</li> </ul>

### 3. 環境経営方針

#### 【基本環境理念】

弊社は、事業活動において生ずる環境への影響を考慮し、現在の環境を『未来からのあずかりもの』としてとらえ、次の世代に引き継げるよう、事業活動の環境負荷軽減に取り組みます。また、建物の長寿命化を目標とし、耐震補強の普及や資源を有効に活用できるよう積極的に取り組みます。

#### 【環境活動方針】

環境理念の下、以下の取組を重点項目と定め全社員で構築した環境経営システムを運用し、適時見直しを行い、SDGsを踏まえ環境経営の継続的改善に努めます。

1. 電力、燃料消費量の抑制により二酸化炭素排出量削減に取り組みます。
2. 廃棄物排出量削減のため、分別を積極的に行い、リサイクルを推進します。
3. 節水に努めます。
4. 化学物質の内容把握に努め、適正な使用を行います。
5. 省エネルギー型建築物の設計・施工提案及び耐震補強工事を推進します。
6. 地域貢献活動及びボランティア活動を行ないます。
7. 環境関連法規を遵守します。
8. 環境経営活動レポートを作成し、公表します。



制定日 2011年10月1日

改定日 2021年4月1日

清興建設株式会社  
代表取締役 原田 信一

## 4. 環境経営目標

- 環境経営目標は、本社（事務所）と資材置場・作業所及び建設現場の2つのサイトに区分して、以下のとおりです。
- エコアクション21の環境への取組では21年度に比べて削減目標を達成出来ていることから中、長期目標として0.5%ずつ削減した。
- なお、次期中長期目標策定にあたっては、経営課題の改善状況（人材確保、省エネ住宅の顧客ニーズ変化等）やハード対策（特に設備更新）を踏まえて、更なる改善につながる目標を検討していきま

環境経営目標		単位	基準年	単年度目標	中長期目標		
			2021年度 (実績値)	2022年度	2023年度	2024年度	
本社 (事務所)	1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	7,294	7221 1 %削減	7184 1.5 %削減	7148 2 %削減
		1-1.電気使用量の削減	kWh	6,657	6590 1 %削減	6557 1.5 %削減	6523 2 %削減
		1-2.ガソリン使用量の削減	ℓ	2,048	2,027 1 %削減	2,017 1.5 %削減	2,007 2 %削減
	2	総排水量(給水量)の削減	m <sup>3</sup>	72	節水に努める		
	3	廃棄物(一般廃棄物)の削減	kg	241	238 1 %削減	237 1.5 %削減	236 2 %削減
	4	省エネルギー型建築物の設計・施工提案及び耐震補強工事の推進	件	19	15	15	15
5	地域貢献活動及びボランティア活動への参加	件	6	6	6	6	
資材置場・ 作業所及び 建設現場	1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	4,513	4,467 1 %削減	4,445 1.5 %削減	4,422 2 %削減
		1-1.電気使用量の削減	kWh	3,191	3,159 1 %削減	3,143 1.5 %削減	3,127 2 %削減
		1-2.ガソリン使用量の削減	ℓ	1,333	1,319 1 %削減	1,313 1.5 %削減	1,306 2 %削減
		1-3.軽油使用量の削減	ℓ	79.0	78.2 1 %削減	77.8 1.5 %削減	77.4 2 %削減
	2	リサイクル可能な産業廃棄物を分別回収する	% (再資源化率)	97.0	98	98	98
	3	総排水量(給水量)の削減	m <sup>3</sup>	7	節水に努める		
	4	化学物質の適正な管理	-	-	化学物質使用量の把握とSDSIによる適正管理を行う		

備考) ・二酸化炭素排出量の購入電力については、九州電力㈱の2021年度調整後排出係数(0.382kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を用いて算出した。

- ・( )は基準年の削減率を示す
- ・計画に不都合があれば毎年見直す



## 5. 環境経営計画

・環境経営目標を達成するため、本社(事務所)と資材置場・作業所及び建設現場で具体的な活動項目と責任者を決めて、以下の取組を行いました。

### 5-1 本社（事務所）

#### (1) 二酸化炭素排出量の 1%削減

取組目標	活動項目
① 電気使用量の1%削減	照明の管理徹底(使用していない部屋及び休憩時の消灯) 空調の適温化(暖房20度、冷房28度) パソコン等の事務用機器の節電徹底 使用していない製品のコンセントを抜く クールビズ、ウォームビズの推進
② ガソリン使用量の1%削減	エコドライブの推進 アイドリングストップ タイヤの空気圧のチェック

#### (2) 総排水量（給水量）の削減

取組目標	活動項目
① 節水に努める	蛇口はこまめに閉める(水の出しっぱなしをやめる)

#### (3) 廃棄物（一般廃棄物）の 1%削減

取組目標	活動項目
① 一般廃棄物の1%削減	排出量の計測（現状の把握） 廃棄物の分別を決め、実行する 使用済み用紙の裏面利用

#### (4) 省エネルギー型建築物の設計・施工提案及び耐震補強工事の推進

取組目標	活動項目
① 省エネルギー型建築物の設計・ 施工提案及び耐震補強工事の推進 (8件/年)	太陽熱利用住宅（OMソーラーハウス）を推進する 木造住宅の耐震診断をして、補強工事を提案する

#### (5) 地域貢献活動及びボランティア活動への参加

取組目標	活動項目
① 地域貢献活動及びボランティア活動 への参加 (2件/年)	地域の清掃活動に参加する 地域のお祭りで舞台を設営する 空き家パトロールへの参加（防災関連）

## 5-2 資材置場・作業所及び建設現場

### (1) 二酸化炭素排出量の1%削減

取組目標	活動項目
① 電気使用量の1%削減	照明の管理徹底(作業していない場所及び休憩時の消灯)
② ガソリン、軽油使用量の1%削減	段取りをよくし、無駄な移動をしない エコドライブの推進

### (2) リサイクル可能な産業廃棄物を分別回収する

取組目標	活動項目
① 産業廃棄物の再資源化 (再資源化率92%)	廃棄物の分別を徹底し、再資源化に努める 余分な材料を注文しない。 発注間違いをなくす。 産業廃棄物の適正処理(委託契約書・マニフェスト伝票)

### (3) 総排水量(給水量)の削減

取組目標	活動項目
① 節水に努める	蛇口はこまめに閉める(水の出っぱなしをやめる)

### (4) 化学物質の適正な管理

取組目標	活動項目
① 化学物質の適正な管理	安全データシート(SDS)を取り寄せる。 化学物質含有製品の把握 塗料・接着剤等使用時の製品の検討



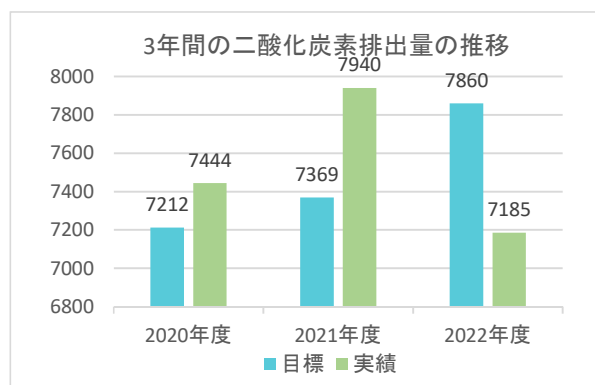
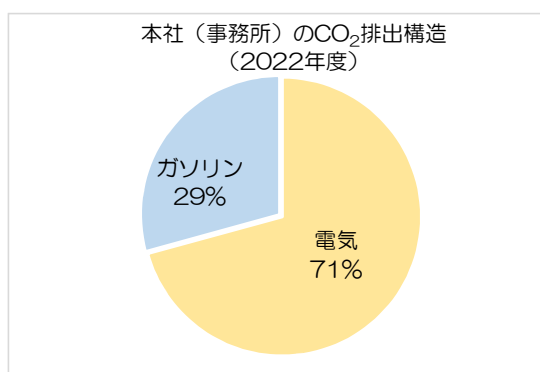
持続可能な17のゴールに向けて取組を進めていきたいと思っております

## 6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

### 6-1 本社（事務所）

#### (1) 二酸化炭素排出量の削減

- 取組にあたっては当社の環境負荷特性を踏まえて、本社(事務所)と資材置場・作業所及び建設現場に分けて実施しました。
- 本社(事務所)の二酸化炭素排出構造は、電気使用量が約7割、ガソリンが約3割となっています。右側の二酸化炭素排出量の3年間の推移では今年是最も削減できました。
- 今年度は社内における啓発のメッセージにSDGsのサインを踏まえ掲示しました。



#### <電気使用量の削減>

活動項目		SDGs
①	照明の管理徹底(使用していない部屋及び休憩時の消灯)	
②	空調の適温化(暖房20度、冷房28度)	
③	パソコン等の事務用機器の節電徹底(コンセントをこまめに抜く)	
④	クールビズ、ウォームビズの推進	

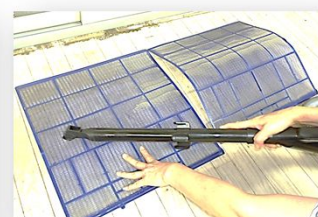
①照明の管理徹底(使用していない部屋及び休憩時間の消灯) ②空調の適温化(暖房20度、冷房28度)

照明は勤務時間外はスイッチOFFにしています。



③パソコン等の事務用機器の節電徹底

- 昼休みにはプリンターの電源OFF、パソコンはスリープ状態にしています。
- 普段使用していない製品はコンセントから抜くようにしています。




- エアコンのフィルターもこまめに掃除します

・毎月のエコアクション会議にて、夏場や、冬場など、特にエアコンを多く使用する月は、前年の同じ月の使用量や金額を発表することによって、どれだけ削減しているかを実感することが出来、大幅に削減できていると、とてもやりがいを感じます。

④クールビズ、ウォームビズの推進

- 気温や湿度を考慮し積極的に着用しました。

<ガソリン使用量の削減>

活動項目		SDGs
①	エコドライブの推進	
②	アイドリングストップ	
③	エアコンの過度な使用を控える	

①エコドライブの推進


・エコドライブを心掛け、停車時はアイドリングストップで運転するよう唱えています。  
 ・また、意識を高められるように、車のダッシュボードに啓発の紙を貼って、目で見ても意識することや車をメンテナンスに出したり、エンジンオイルを交換することで走行距離を伸ばせるよう心掛けました。

②アイドリングストップ ③タイヤの空気圧のチェック

・スタンドでガソリンを入れる時などにタイヤの空気圧のチェックをしてもらいました。



(2) 総排水量（給水量）の削減

活動項目		SDGs
①	蛇口はこまめに閉める(水の出っぱなしをやめる)	




・当社は井戸水を使用しているので、基本的には料金はありませんが、貴重な資源の無駄を無くすという意味での節水に取り組んでいます。

・井戸水を利用して車の洗車も行っています。



(3) 廃棄物（一般廃棄物）の削減

活動項目		SDGs
①	排出量の計測（現状の把握）	
②	廃棄物の分別を決め、実行する	
③	使用済み用紙の裏面利用	

①ごみ排出量の計測



②廃棄物の分別を決め、実行する






③使用済み用紙の裏面利用








(4) 省エネルギー型建築物の設計・施工提案及び耐震補強工事の推進

活動項目		SDGs		
①	太陽熱利用住宅（OMソーラーハウス）を推進する	7	11	12
②	木造住宅の耐震診断をして、補強工事を提案する			



- ・省エネルギーの推進に関しては、今年度もゼロでした。耐震セミナーや耐震診断も徐々に回復傾向になり、お客様も増えてきました。
- ・耐震工事は9件工事することが出来ました。
- ・会社の受付カウンターの上には耐震工事に関するパンフレットや省エネルギー関係の資料を置いてアピールしています。

(5) 地域貢献活動及びボランティア活動への参加

活動項目		SDGs		
①	地域の清掃活動に参加する	3	8	11
②	地域のお祭りで舞台を設営する			
③	空き家パトロールへの参加（防災関連）			

①地域の清掃に参加

- ・11月に建設業による香椎宮の清掃活動に今年も参加しました。



② 地域のお祭りで舞台の設営

- ・今年度も夏祭りはコロナと猛暑で中止となりました。

③ 空き家パトロールへの参加（防災関連）

- ・今年度の建築物の安全パトロールに参加しました。
- ・7月に大雨警報が出た時は防災機構からの連絡を待機しました。担当場所の被害は無かったです。

現場の清掃活動



公園の清掃活動



空き家パトロール

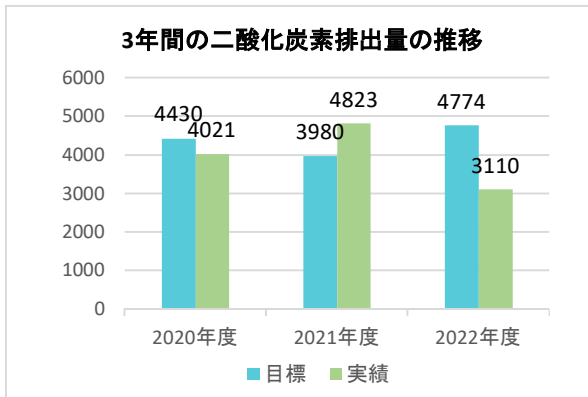
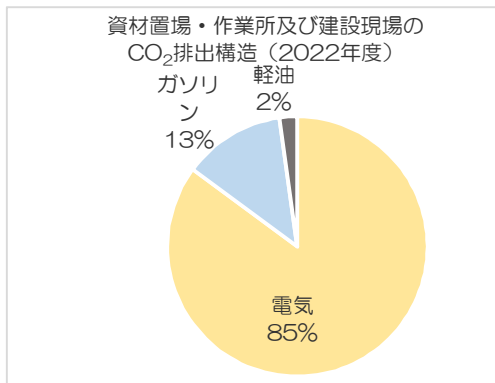




## 6-2 資材置場・作業所及び建設現場

### (1) 二酸化炭素排出量の削減

- ・資材置場、作業所及び建設現場の二酸化炭素排出量は電気が約8.5割を占めています。
- ・3年間の推移では、今年度が一番排出量が低くなっております。



<電気使用量の削減>

活動項目	SDGs
① 照明の管理徹底(作業していない場所及び休憩時の消灯)	7 再生可能エネルギー, 11 持続可能な都市とコミュニティ, 13 気候変動に具体的な対策を

- ・照明は使用する場所のみ電灯管を取付て、それ以外の場所は電灯管を外しています。



倉庫の作業場出入口には経営方針、今年度の環境経営計画、前年度の取組結果等を掲示しています。目につく所に掲示する事で意識を高める狙いがあります。今年度は啓発のポップにもSDGsを表示してみました。







<ガソリン・軽油使用量の削減>

活動項目	SDGs
① 段取りをよくし、無駄な移動をしない	7 再生可能エネルギー, 13 気候変動に具体的な対策を, 11 持続可能な都市とコミュニティ, 15 陸の豊かさを守ろう
② エコドライブの推進	
③ アイドリングストップ	
④ タイヤの空気圧の確認	



- ・環境に配慮して運転するように心掛けています。
- ・軽トラのダッシュボードには、エコドライブを意識するよう目の届くところに啓発の紙を貼り、常に視界に入るようにしました。
- ・スタンドでは1ヶ月に1度のペースでタイヤの空気圧を確認しています。

(2) リサイクル可能な産業廃棄物を分別回収する

活動項目	SDGs
① 廃棄物の分別を徹底し、再資源化に努める	   
② 余分な材料を注文しない。	
③ 発注間違いをなくす。	
④ 産業廃棄物の適正処理（委託契約書・マニフェスト伝票）	

- ① 廃棄物の分別を徹底し、再資源化に努める
- ② 余分な材料を発注しない      ③ 発注間違いをなくす

- ・余分な材料の発注はありませんでした。発注の間違ひもありませんでした。
- ・無駄を無くし効率よく発注・使用することができたので、来期もこの調子で継続させていきたい

- ④ 産業廃棄物の適正処理（委託契約書・マニフェスト伝票）

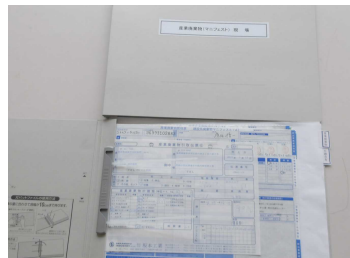
- ・解体工事の際は産業廃棄物委託契約書を締結し、マニフェストの作成、発行、保存を適切に行い、返却されたマニフェストは現場ごとに保存しています。





倉庫で使用しているゴミ置き場



現場、倉庫、公共工事等分別してマニフェストを保存しています。



(3) 総排水量（給水量）の削減





活動項目	SDGs
① 蛇口はこまめに閉める（水の出っぱなしをやめる）	 



- ・節水の紙を貼って取り組んでいます。
- ・屋外にあるので、洗車に使ったりもします。
- ・こまめに止める事を意識して使用しました。

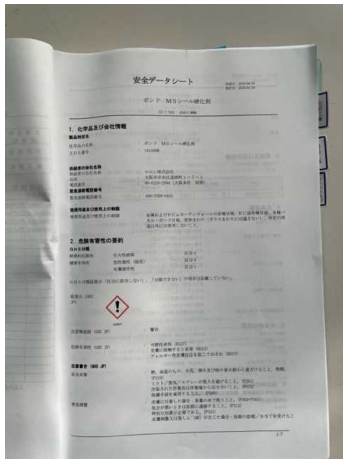


(4) 化学物質の適正な管理

活動項目	SDGs
① 安全データシート（SDS）を取り寄せる。	   
② 化学物質含有製品の把握	
③ 塗料・接着剤等使用時の製品の検討	

- ・防水工事や塗装工事等行う現場において、安全データシートを取り寄せPRTR法に該当する場合は含有量を計算し記録しました。
- ・安全データシートは各現場ごとにファイルし、インデックスを貼って保存しています。
- ・今年度は外壁塗装工事を受注したので、工事の際は、環境に配慮し、排水には天然無機質系凝集剤を使用して、濁水を中和し、水と沈殿物とに分け、水はpHを計り安全性を確認してから排水しました。沈殿物は天日で乾燥させてから、産業廃棄物として処分しました。

- ① 安全データシートを取り寄せる
- ② 化学物質含有製品の把握
- ③ 塗料・接着剤等使用時の製品の検討



安全データシートを取り寄せ化学物質含有量をチェックし安全に使用しました。



① 天然凝固剤を投入



③ pHを計り水質確認しています。pH試験紙が安全な色に変化してから排水します。



② 水と沈殿物に分けます

現場に於いての健康管理

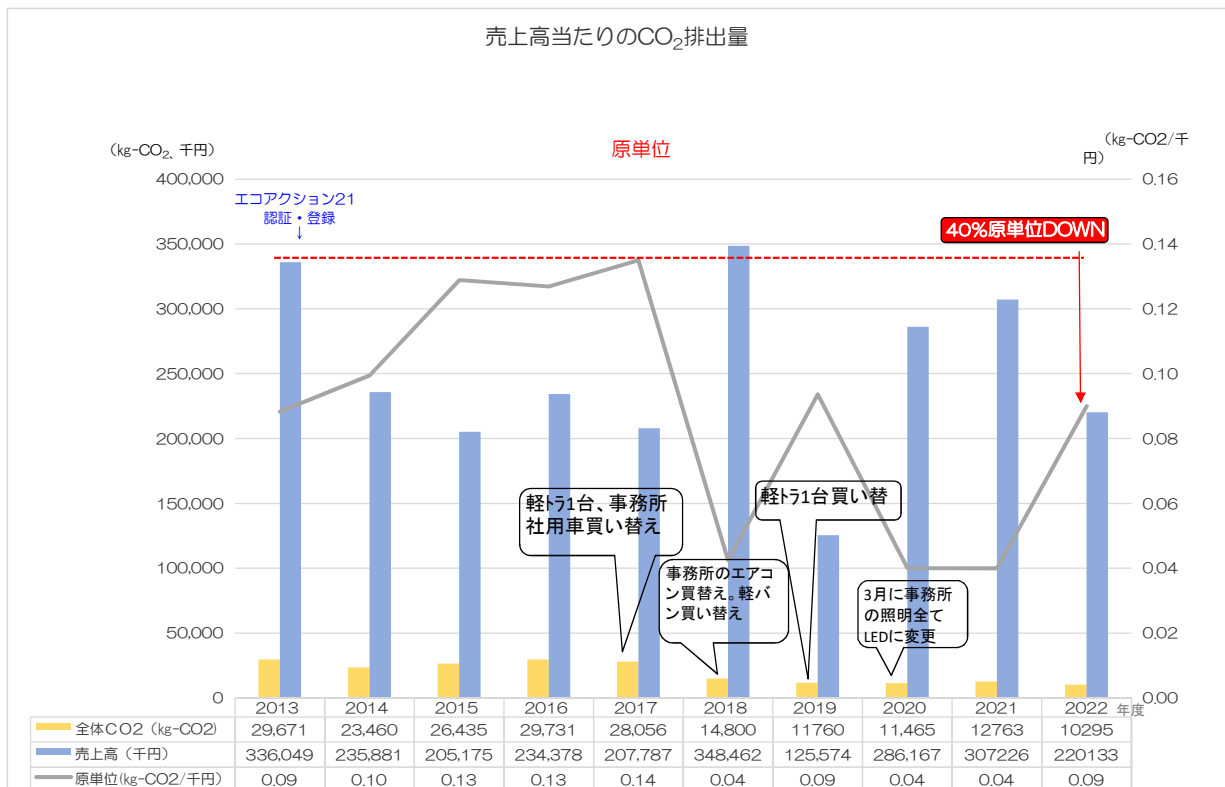
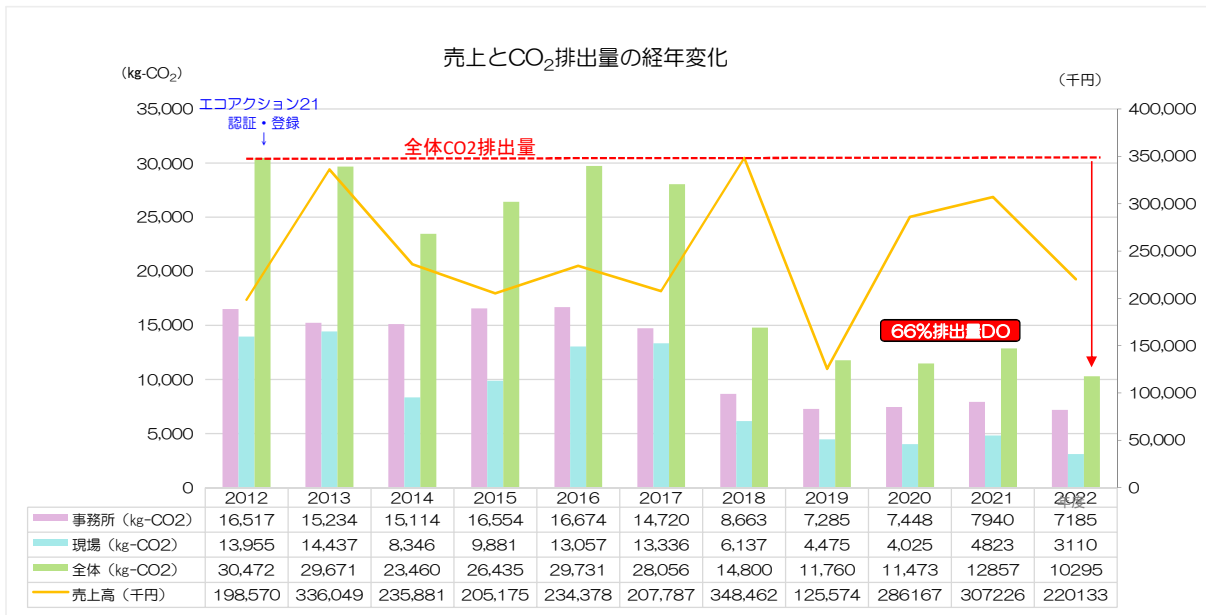
近年、夏場になると猛暑が襲い、熱中症で体調不良に陥ることがありますので、予防策として現場事務所に塩飴や経口補水液を常備し、補水休憩をして、現場関係者の体調管理をしています。外部には熱中症予報を掲げ毎日のWBGT値を掲示し、啓発活動を行っています。





## 当社の環境への取組の足跡（CO<sub>2</sub>排出量の推移）

- 本社（事務所）と資材置場・作業所及び建設現場におけるエコアクション21の認証・登録年度より現在に至る11年間の売上とCO<sub>2</sub>排出量の経年変化と、売上高当たりのCO<sub>2</sub>排出量（原単位）をグラフにしました。
- この結果、エコアクション21認証登録時（2012年度）に対して、2022年度は売上が1.1倍増加となり、全体CO<sub>2</sub>排出量は66%ダウンし、売上額当たりの排出量（原単位）も40%ダウンしました。当初のCO<sub>2</sub>と見比べてみても削減は約1/3の値になっており、削減努力が実った形です。



## 7. 環境経営目標の達成状況、環境経営計画の実施状況の取組結果とその評価







- 環境経営目標は当社の事業活動を踏まえて、本社(事務所)で5項目7目標、資材置場・作業所及び建設現場で4項目7目標を設定しました。

### 【本社（事務所）】

- 本社（事務所）はほとんどの項目で目標を達成し、取組も適切に実施できました。なお、二酸化炭素排出が僅かに目標値を上回りましたが、次年度は目標達成を目指します。

環境経営目標	単位	2022年度 (2022年4月～2023年3月)		目標達成率	目標達成状況	
		目標値	実績値			
1 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	7,221 (1%削減)	7,185	101%	○	
	1-1. 電気使用量の削減	kWh	6,590 (1%削減)	5,354	123%	◎
	1-2. ガソリン使用量の削減	ℓ	2,027 (1%削減)	2,215	91%	△
2 総排水量(給水量)の削減	m <sup>3</sup>	節水に努める (72)	節水に努めた (72)	100%	○	
3 廃棄物(一般廃棄物)の削減	kg	238 (1%削減)	233	103%	○	
4 省エネルギー型建築物の設計・施工提案及び耐震補強工事の推進	件 (現場数)	15	18	120%	◎	
5 地域貢献活動及びボランティア活動への参加	回数	6	9	150%	◎	

・目標達成状況区分 ◎：目標達成率120%以上 ○：100%以上120%未満 △：80%以上100%未満 ×80%未満 -：判定不可

取組目標	SDGsの関連	活動項目	実施状況
電気使用量の1%削減		照明の管理徹底(使用していない部屋及び休憩時の消灯)	◎
		空調の適温化(暖房20度、冷房28度)	△
		パソコン等の事務用機器の節電徹底 (使用していない製品のコンセントを抜く)	◎
		クールビズ・ウォームビズを励行し冷暖房使用を抑える	◎
ガソリン使用量の1%削減		エコドライブの推進	◎
		アイドリングストップ	◎
		エアコンの過度の使用を控える	○
節水に努める		蛇口をこまめに閉める	◎
		洗車はバケツに水を入れて洗う	◎
リサイクル可能な一般廃棄物を分別回収する		排出量の計測(排出現状の把握)	◎
		廃棄物の分別を決め、実行する	◎
		使用済み用紙の裏面利用しリサイクル率を高める	◎
省エネルギー型建築物の設計・施工提案及び耐震補強工事の推進		太陽熱利用住宅(OMソーラーハウス)を推進す	-
		木造住宅の耐震診断をして、補強工事を提案する	◎
地域貢献活動、ボランティア活動への参加		地域の清掃活動に参加する	◎
		地域のお祭りで舞台を設営する	-
		地域の空き家パトロールに参加する(防災関連)	◎

実施状況区分 ◎：良く実施されている(定着) ○：実施されている △：ほぼ実施されている ×：実施されていない -：判定不可






## 【資材置場・作業所及び建設現場】

- ・資材置場・作業所及び建設現場は、産業廃棄物の再資源化率が目標未達成となりましたが、二酸化炭素排出量、電気・ガソリン使用量、総排水量、化学物質管理と目標を達成しました。
- ・環境への取組については全て適切に実施されており、今後もこの取組を維持していきます。

環境経営目標		単位	2022年度 (2022年4月～2023年3月)		目標達成率	目標達成状況	
			目標値	実績値			
資材置場・ 作業所及び 建設現場	1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	4,467 (1%削減)	3,100	144%	◎
		1-1. 電気使用量の削減	kWh	3,159 (1%削減)	463	682%	◎
		1-2. ガソリン使用量の削減	ℓ	1,319 (1%削減)	1,168	113%	○
		1-3. 軽油使用量の削減	ℓ	78 (1%削減)	82	95%	△
	2	リサイクル可能な産業廃棄物を分別回収する	% (再資源化率)	98	68	70%	×
	3	総排水量(給水量)の削減	m <sup>3</sup>	節水に努める (7.0)	7.0	100%	○
	4	化学物質の適正な管理	kg	把握と適正管理 に努める	把握と適正管理 を行った	-	◎

・目標達成状況区分 ◎：目標達成率120%以上 ○：100%以上120%未満 △：80%以上100%未満 ×80%未満 -：判定不可

取組目標	SDGsの関連	活動項目	達成状況
電気使用量の1%削減		照明の管理徹底(作業していない場所及び休憩時の消灯)	◎
ガソリン・軽油使用量の1%削減		段取りをよくし、無駄な移動をしない	◎
		アイドリングストップを励行する	○
		エコドライブの推進	◎
		タイヤの空気圧を確認する	○
リサイクル率を上げ、最終処分量を削減する		廃棄物の分別を徹底し、再資源化に努める	○
		余分な材料を注文しない(端材・部材の転用)	◎
		発注間違いをなくす	◎
		産業廃棄物の適正処理(委託契約書・マニフェスト伝票)	◎
節水に努める		蛇口はこまめに閉める(水の出っぱなしをやめる)	○
現場における化学物質含有製品と使用量確認		安全データシートの取り寄せ	◎
		化学物質含有製品の把握	◎
		塗料・接着剤等使用時の製品の検討	◎

実施状況区分 ◎：良く実施されてる(定着) ○：実施されている △：ほぼ実施されている ×：実施されていない -：判定不可

## 8.次年度の環境経営目標と環境経営計画

- ・2022年度の運用成績を踏まえて、次年度の計画は以下のとおりとしました。

### 8-1環境経営目標

- ・次年度は、当初策定していた中長期目標の適用を考えていましたが、今年度のコロナ渦でのボランティア活動機会の減少、資材置場・現場での作業量の増加の実績を踏まえて、当初の目標を見直し、次のとおりとしました。

環境経営目標	単位	基準年	単年度目標	中期目標			
		2021年度 (実績値)	2022年度	2023年度	2024年度		
本社 (事務所)	1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	7,294	7,221 1 %削減	7,184 1.5 %削減	7,148 2 %削減
		1-1.電気使用量の削減	kWh	6,657	6,590 1 %削減	6,557 1.5 %削減	6,523 2 %削減
		1-2.ガソリン使用量の削減	ℓ	2,048	2,027 1 %削減	2,017 1.5 %削減	2,007 2 %削減
	2	水使用量(給水量)の削減	m <sup>3</sup>	72	節水に努める		
	3	廃棄物(一般廃棄物)の削減	kg	241	238 1 %削減	237 1.5 %削減	236 2 %削減
	4	省エネルギー型建築物の設計・施工提案及び耐震補強工事の推進	件 (耐震診断・補強工事)	19	15	15	15
5	地域貢献活動及びボランティア活動への参加	件	6	6	6	6	
資材置場・ 作業所及び 建設現場	1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	4,513	4467 1 %削減	4445 1.5 %削減	4422 2 %削減
		1-1.電気使用量の削減	kWh	3,191	3159 1 %削減	3143 1.5 %削減	3127 2 %削減
		1-2.ガソリン使用量の削減	ℓ	1,333	1319 1 %削減	1313 1.5 %削減	1306 2 %削減
		1-3.軽油使用量の削減	ℓ	79.0	78.2 1 %削減	77.8 1.5 %削減	77.4 2 %削減
	2	リサイクル可能な産業廃棄物を分別回収する	% (再資源化率)	97	98	98	98
	3	水使用量(給水量)の削減	m <sup>3</sup>	7	節水に努める		
	4	化学物質の適正な管理	-	-	化学物質使用量の把握とSDSによる適正管理を行う		

- 備考)
- ・二酸化炭素排出量の購入電力については、九州電力㈱の2021年度調整後排出係数(0.382kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を用いて算出した。
  - ・下段は基準年の削減率を示す
  - ・計画に不都合があれば毎年見直す

## 8-2 環境経営計画

・次年度の取組については、今年度を継続するものとし、サイト別に次のとおりとしました。

項 目		取組内容	本社 (事務所)	資材置場・ 作業所及び 建設現場	
二酸化炭素排出量の削減	電気使用量の削減	照明の管理徹底（使用していない部屋及び休憩時の消灯）	○	○	
		空調の適温化（暖房20度、冷房28度）	○		
		パソコン等の事務用機器の節電徹底	○		
		クールビズ、ウォームビズの推進	○		
	ガソリン・経由使用量の削減	エコドライブの推進	○		
		アイドリングストップ	○		
		タイヤの空気圧のチェック	○		
		段取りを良くし、無駄な移動をしない		○	
総排水量（給水量）の削減		蛇口はこまめに閉める（水の出っぱなしをやめる）	○	○	
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の削減	排出量の計測（現状の把握）	○		
		廃棄物の分別を決め、実行する	○		
		使用済み用紙の裏面利用	○		
	産業廃棄物の削減	廃棄物の分別を徹底し、再資源化に努める			○
		余分な材料を発注しない			○
		発注間違いをなくす			○
		産業廃棄物の適正処理（委託契約書・マニフェスト伝票）			○
	省エネルギー型建築物の設計・施工提案及び耐震補強工事の推進	太陽熱利用住宅（OMソーラーハウス）の推進	○		
木造住宅の耐震診断をして、耐震補強工事を提案する		○			
地域貢献活動及びボランティア活動への参加	地域の清掃活動に参加する	○			
	地域のお祭りで舞台設置	○			
	空き家パトロールへの参加	○			
化学物質の適正な管理	安全データシートを取り寄せる			○	
	化学物質含有製品の把握			○	
	塗料・接着剤等、使用時の製品の検討			○	

## 9 環境関連法規の遵守状況並びに違反、訴訟等の有無

- ・2022年度の環境関連法規の遵守状況を確認・評価した結果、法令違反はありませんでした。
- ・また、関係機関等からの違反等の指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

法規・条例・規制	適用対象	摘要される項目	評価
廃棄物処理法	一般廃棄物	委託契約	○
	産業廃棄物	マニフェスト交付・契約書保存	○
		年1回市への報告書提出	○
労働安全衛生法	石綿等（重量比0.1%超）	労働基準監督署に計画届提出	○
建設リサイクル法	解体工事	分別解体再資源化・届け出・報告	○
建築基準法	居室を有する建築物	材料クロルピリホスの使用禁止	○
		ホルムアルデヒドの制限	○
騒音規制法	杭打機・びょう打機・空気圧縮機を使用する作業	85dB以下	○
振動規制法	杭打機・びょう打機・プレカ-、舗装版破砕機を使用する作業	75dB以下	○
温暖化対策推進法	事業活動全般	温室ガス排出の抑制	○
		福岡県の政策に協力	○
化学物質管理促進法 (PRTR法)	建築材料	特定の化学物質の把握	○
		SDSを取り寄せる	○
大気汚染防止法	特定粉塵排出等に係る規則基準	特定建築材料除去作業に伴う調査説明	○
		実施の届け出・完了時の報告・保存	○
フロン排出抑制法	事業用エアコン	簡易点検の実施	○

・評価区分 ○：遵守 ×不遵守 -：該当なし

## 10.代表者による全体の評価と見直しの結果

- ・今年度は二酸化炭素削減において目標は達成できた。引き続き目標達成を目指し取組に努める。
- ・産業廃棄物は最終処分の割合が多かった。
- ・省エネ建築、耐震工事も目標達成となり、次年度への継続が望まれる。
- ・化学物質の安全データもきちんと取り寄せ、管理できていた。引き続き適切な管理に努めてもらいたい。
- ・地域ボランティア活動は動向回復の兆しがあり、次年度は積極的に関わっていきたい。

見直し項目	変更の必要性	評価
1 環境経営方針	有(無)	そのままでよい
2 環境経営目標	(有)・無	次年度削減目標を1.5%、翌々年を2%とする
3 環境経営計画	有(無)	そのままでよい
4 実施体制	有(無)	そのままでよい
5 環境関連法規等の取りまとめ	有(無)	そのままでよい
6 環境上の緊急事態への準備及び対応	有(無)	そのままでよい
7 環境関連文書及び記録の作成・管理	有(無)	そのままでよい
8 取組状況の確認、問題の是正・予防	有(無)	そのままでよい